



「ありがとう」は温かい言葉、「ごめんなさい」は優しい言葉

校長 佐藤 邦彦

さわやかな風が心地よく吹き抜ける季節から日差しが夏を思わせる季節へと移り変わっています。山々の木々も、学校の木々もすっかり青葉となりました。

1年生67名、まつのみ学級5名が入学して、全校生466名でスタートした1学期もあっという間に5月が終わりました。1年生は、優しいお兄さんやお姉さんに温かく見守られながら、毎日元気に、登校しています。小学校の生活リズムに慣れてきたようで頼もしさも感じます。2年生から6年生の児童も、新しいクラスの仲間と共に、学習活動や係活動、学年行事などに一生懸命取り組み、順調なスタートを切ることができました。特に6年生は、学校のリーダーとして、1年生の体力テストのサポート、縦割り班の班長・副班長として活躍してくれています。

日々の遊びや勉強から、生きる力（確かな学力・豊かな心・たくましい体）を養い、「共に生き、共に学び、共に創る 一人一人の子どもが輝く学校」の実現に向け、教職員一同力を合わせてまいります。



「ありがとう」という言葉は、普段、よく使う言葉です。人と人が、気持ちよく触れ合うための方法の一つです。「ありがとう」という言葉で、気持ちがほぐれ、親しみを感じたり、心のつ

ながりが生まれたりします。

「ありがとう」という言葉を使うことは、礼儀作法として教わり、分かっているつもりでいるものです。しかし、「ありがとう」と言わなくても、相手がかかっているはずだと思ったり、つい省略してしまったりすることがあります。「ありがとう」という一つの言葉が、相手と自分の気持ちをほぐし、温かい人と人との関係をつくっていくことに気付いていないことがあるかもしれません。

礼儀とは、人を敬う作法、相手に対して失礼にならない態度やふるまいのことです。相手の気持ちを自分ならどうだろうと考え、相手の気持ちに応じた

対応ができると、周りの人たちとの間に、友情やきずな、感謝の心が生まれてくるのだと思います。

掃除の時間に箒と塵取りを持って校舎を回って掃除をしていると子どもたちが「ご苦労様です」「ありがとうございます」と心の底から声をかけてくれます。感謝の気持ちを言葉に乗せて、心を響き合わせることで松中小の子どもたちの姿を誇らしく思っています。

英語で「ありがとう」を「サンキュー (Thank you)」と言います。「you」は「あなた」ですが、「thank」の語源をたどってみると「think (考える、思う)」に通じる場所があるそうです。したがって、「サンキュー (Thank you)」とは、「あなたのことを思っています」ということなのです。つまり「ありがとう」→「感謝」とは相手を思う気持ち、相手の存在をしっかりと認める気持ちではないでしょうか。

もう一つは、「ごめんなさい」です。むずかしい言葉で「素直な心」と言います。

みなさんの中で、「ごめんなさい」とか「わかったなあ」という気持ちを一度も持ったことがない人はいないでしょう。「ひと」は、みんな素直な心をもって生まれてきます。その素直な心を、しっかりと表してほしいのです。失敗したり、良くないことしたりした時は、「ごめん。」「ごめんなさい。」「すみません。」「わかったです。」「わかったなあ。」と自然に言えることが大事です。「気持ち」を「言葉」で表してほしいのです。そして、同時に「次は気をつけます。」という気持ちをもつことが大切です。

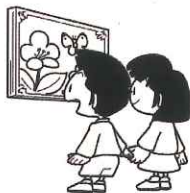
「ごめんなさい」は「あなたを大事に思っている」という意味が含まれていることにも気付いてほしいと思います。

このように、私たちは、周囲の人たちからかけられる言葉によって、誰もが日々、様々な影響を受けています。毎日を気持ちよく過ごすための「オアシス」という合言葉があります。オ「おはようございます」、ア「ありがとうございます」、シ「しつれいします」、ス「すみません(ごめんなさい)」という挨拶です。今、「心の時代」に、自分のがんばりや健康、成長を支えてくださる方々や友達への「感謝やお礼の気持ち」を自然に言葉にできるコミュニケーションを大切にしていきたいと考えています。

【5月の活動の様子】

5/20 「ファーレ立川」 5年

「ファーレ」の語源は、イタリア語の「FARE（創造する、生み出すの意）」に立川の頭文字“T”をつけ「FARET」と名づけられました。世界36か国92人のアーティストによる109点のパブリックアートをガイドツアーで楽しみました。子どもたちも驚きや発見があったようです。



5/26 「ヤゴ救出大作戦」 3年



プール清掃をするために、水を抜きました。水位を30cmくらいまで下げ、学校のプールにいるヤゴを助け出しました。昨年度にプールに木の枝を入れてトンボが卵を産みやすい環境を作っておきました。救出したヤゴは、トンボに羽化するまで子どもたちが教室で大切に育てます。ヤゴ救出大作戦を通じて、子どもたちは「命の大切さ」と「自然の生態系」について考えていきます。



【6月の予定】

日	曜	行事予定等
1	水	安全指導 麦かり(6年) 34校時 まつなか塾③(2年) 尿検二次予備日
2	木	
3	金	耳鼻科検診346ま
4	土	授業日(公開なし) 歩行学習(まつのみ)
5	日	
6	月	学校朝会(4年) 水道キャラバン1・2校時(4年)
7	火	日光移動教室(6年) ホテル花の季
8	水	日光移動教室(6年)
9	木	日光移動教室(6年) 歯科検診12まつ
10	金	自転車教室(3年) 午前中校庭使用
11	土	
12	日	
13	月	学校朝会 委員会活動 都学力向上調査4年
14	火	避難訓練(2校時)
15	水	児童集会 まつなか塾④(4年) 西砂図書館ガイダンス(1年34校時)
16	木	いじめみのがさあずディ 内科35(宿泊前)
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	音楽朝会 水泳指導始 クラブ活動④ 読書週間(7/1まで)
21	火	
22	水	ハヶ岳自然教室(5年) まつなか塾⑤
23	木	ハヶ岳自然教室(5年) 歯科検診46まつ
24	金	ハヶ岳自然教室(5年)
25	土	
26	日	
27	月	学校朝会(キラリ)
28	火	たてわり班長会議②(中休み)
29	水	児童集会 校内研究授業(3-1)
30	木	校外学習(6年 国会) 歯科検診35年

移動教室の お迎えについて

昨年度、車でのお迎えで、ご近所からお電話がありました。校庭側の青門前にはバスが2台停車します。早めに来校しての路上駐車や青門の前への駐車はご遠慮ください。

マスクのこと

校長先生から学校朝会で「マスクの着用の必要がない場合」のお話がありました。熱中症のリスクも考え、体育の授業(体育館やプールなど)、中休みなどの校庭遊びや、校庭での観察活動など、マスクを外す場面が考えられます。その際、マスクをしまうマスクケース(ジッパーバック)の用意もお願いします。念のため、予備のマスクの準備もお願いいたします。



水泳学習について

6月20日(月)から体育の学習として、水遊びや浮く・泳ぐ運動が始まります。

昨年は、新型コロナウイルス感染状況により、水泳学習を十分に行えていませんでした。子どもたちもあまり水にふれる機会もなかったことと思います。そのため、今年度は全学年を通して水慣れや水遊びを中心に「水中で体を動かすことの楽しさ」にふれる学習ができるよう準備を進めています。プールでの約束を守り、ぜひ水に慣れて、楽しく充実した水泳学習期間を過ごしてほしいと思います。

ご家庭でも、お子さんの健康観察や水泳用品の準備等ご協力をよろしくお願いいたします。

1年生と学校探検

2年生は、5月30日に生活科の学習で「学校たんけん」を行いました。校舎内の場所を1年生と13か所まわり、行き方や案内したいことなど2年生が考え、グループを組んで歩いていました。最初は緊張している様子でしたが、説明をするうちに打ち解けられたようです。1年生に喜んでもらって、お兄さん・お姉さんになったことを実感できたのではないかと思います。



マスク着用の必要がない場面

新型コロナ対策の基本的対処方針の変更を踏まえ、文部科学省は学校現場でマスクの着用が必要のない場面について、体育の授業では屋外に限らずプールや体育館も対象となるなど具体的に明記したうえで全国の教育委員会に通知しました。

この中では、マスクを着用する必要がない具体的な場面について、体育の授業の際は屋外の運動場に限り、プールや屋内の体育館も対象としています。

登下校についても会話を控えるよう注意しつつ、マスクを外すよう指導するなど熱中症対策を優先するよう求められています。

屋外

熱中症対策を優先

※人との距離が確保できる場合

※人との距離が確保できなくても、会話をほとんど行わないような場合



【体育の授業・外での観察・活動・中休み・昼休み】

- マスクを外して、運動や外遊びをする。
- 必ず、外から教室に入るときは手洗いや手の消毒をする。
- 校舎内は、マスクを着用する。

【登下校】

- 会話を控えるよう注意しつつ、マスクを外しても構わない。
- すぐにマスクを付けられるようにしておく。